平成23年度当初予算　予算要求シート

整理番号　11 － 012　　局･課名／　健康福祉局　健康増進課　　（単位　千円）

事　業　名	子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成事業
関連事業	医療対策課　　予防接種 （ヒブ接種費用助成、小児肺炎球菌接種費用助成、成人肺炎球菌接種費用助成）

	平成21年度決算額	平成22年度予算額	平成23年度要求額
事　業　費		44,280	219,218
事業期間	H22　～　H	全体事業費	

事業目的

子宮頸がん予防ワクチンの接種に係る費用助成を行うことで、女性の健康増進を図る。

今年度要求のポイント

国が平成22年度の補正予算にて、ワクチンの接種費用の補助を予定している。これにより国、市にて1／2ずつ接種費用を負担する予定としていることから、接種者数の増加を見込んだ額を要求する。

事業内容

〇任意予防接種の助成

堺市民の中学１～３年生及び高校１年生に相当する女子（経過措置として４月から半年間は新高校２年生にも実施）に対象を拡大し、子宮頸がん予防ワクチンの接種費用を全額助成する。（平成22年10月より、堺市民の中学１年生に相当する女子（経過措置として中学2、3年生にも実施）を対象に、接種費用のうち1回あたり7,000円の助成を実施）

接種に係る費用は、医療機関にてワクチンを接種した後、医療機関が接種費用を市に請求する。
接種は３回必要（初回、１ヵ月後、６ヵ月後）

（単位：千円）

項目	22年度予算	23年度要求額	内容・積算等
任意予防接種費用助成	44,280	212,250	助成金
その他	0	6,968	委託料等
合計	44,280	219,218	

スケジュール（経過及び今後展開）

【経過（～22年度】
平成22年10月から事業開始（助成額7,000円）

【23年度】
事業の継続実施

【今後（～24年度】
事業の継続実施
予防接種法が改正された場合は、法定接種として実施予定。

その他　特記事項

国は、平成22年10月6日の厚生科学審議会の意見書を踏まえて、平成24年度から子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチンを法定接種化する方向で検討中。